

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月1日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675700100
法人名	有限会社 エミ企画
事業所名	グループホーム くりの
所在地	鹿児島県始良郡湧水町米永181番地1 (電話) 0995-74-1220
自己評価作成日	平成27年4月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年5月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

目の前には、栗野岳の山々や川内川があり自然に恵まれた環境に位置しています。2階へ続く階段は、温もりのある一枚板を使用し、緩やかで移動しやすい作りになっています。敷地内には、多目的ホール「ふるはうす」があり、誕生会や敬老会などを行っております。外部からの慰問を呼びかけ地域への開放を行っております。家族会で要望のあったエレベーターも前年度設置し、車椅子の利用者様も外への散歩の機会が多くなり、季節に応じた活動の幅が広がっております。職員の学ぶ意欲、よりよいケアを重視し、「自分が学び伝えたい事」をテーマに勉強会を計画し、ホーム内研修を充実させております。又、外部研修などへも参加しています。基本理念、活動目標の理解に努め、スタッフ間で互いに声を掛け合い、自然と笑顔のあふれる対応を心掛けております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、2階建ての2ユニットでエレベーターが設置され、車椅子利用者の活動範囲が広がっている。
- ・秋祭りや踊りなどの各種地域行事に参加したり、地域の人から野菜の差し入れなどもある。ホームの多目的ホールを踊りの練習や気軽に立ち寄る場として地域に開放している。中学生の職場体験学習や障害者施設との交流・ボランティアの受け入れなども行っている。
- ・身体拘束廃止委員会で、事例や課題に基づいて定期的に勉強会を実施し、職員の理解を深めている。言葉による拘束も含め拘束をしないケアを実践している。
- ・緊急時等は24時間の医療連携体制が整っており、連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。
- ・代表者や管理者は家族や職員の意見や提案を積極的に聞き、運営に反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員会議や、毎朝の朝礼時に皆で唱和し、よりよいケアにつながるように、理念の共有と実践を図っている。	理念は職員会議や朝礼で唱和すると共に、終業時には1日の振り返りを行って、理念及び目標に沿ったケアができたか確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事に積極的に参加し、散歩や図書館への外出の際は、挨拶や会話を楽しんでいる。ホームの多目的ホールを開放し、地域の方が、気軽に立ち寄れる場として呼びかけている。	秋祭りや踊りなどの各種地域行事に参加したり、地域の人から野菜の差し入れなどもある。ホームの多目的ホールを踊りの練習や気軽に立ち寄る場として地域に開放している。中学生の職場体験学習や障害者施設との交流・ボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の体験学習受け入れ、スタッフは認知症サポーター講習受講の機会を生かし、地域社会へ認知症の理解アピールに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月ごとに開催し、運営体制・家族からの苦情・提案事項・事故について報告し、意見を頂きサービス向上に活かしている。ご家族の協力を得て、行事弁当を作って頂いたりしている。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の運営状況や外部評価の報告などを行い、参加者からは多くの助言や提案があり、具体的なサービスに活かしている。昨年は、要望を受けてエレベーターが設置されている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>町主催の研修、地域包括支援センターの研修に参加したり、ホームの敬老会に参加を呼びかけ、指導や協力・支援を頂いている。</p>	<p>町や地域包括支援センターの担当者とは、日頃から電話や窓口に出向き利用者の相談や情報を交換している。運営推進会議だけでなく、事業所の敬老会等の行事でもサービスの取り組みを伝えアドバイスを貰っている。町主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>昼間は、施錠せず見守りに努め安全で開放的な暮らしを支援している。身体拘束廃止委員会で、計画を立て職員会議の中で担当スタッフが研修を行っている。事故防止の為に身体拘束については一時的、代替がない、生命の危険など十分な説明を行い同意書を頂くようにしているが、現在該当者なし。</p>	<p>身体拘束廃止委員会で、事例や課題に基づいて定期的に勉強会を実施し、職員の理解を深めている。言葉による拘束も含め拘束をしないケアを実践している。玄関は日中、施錠せずに職員間の連携で見守りや声かけで安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議、ケア会議などで勉強会を開いており防止に努めている。身体的のみならず、言葉の虐待についても事例を用いて勉強する機会があり防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在の所、必要とされる利用者はいない。外部研修などに参加し、学ぶ機会を持っている。研修後に、ホーム内研修でも勉強し全スタッフで理解につなげている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の契約書や、重要事項説明書を読み合わせしながら確認作業し疑問点や不安等質問に応じ、納得や理解に努めている。又、改正後も随時ご家族に説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居時に、利用者や家族が職員や、第三者に意見や要望を表せる方法を説明し、日頃の面会時にも、気軽に言ってくれる雰囲気作りを心掛けている。又、その時に、お答え出来ない時は後日報告している。又、意見要望等は職員会議で全スタッフと話し合い運営に反映している。	利用者からは日々の関わりの中で、家族からは面会や家族会・行事参加時・運営推進会議などで職員の方から声をかけて利用者の近況報告を行ない、意見や要望を聞き、運営やケアに反映させている。第三者委員も掲示し、相談や苦情が言いやすい体制ができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議の時に、意見要望など話す機会がある。又、代表者は年2回個別に職員の意見や提案を聞く機会を設けている。管理者は、日常業務の中で職員と意見交換を行い、代表者と話し合い運営に反映している。</p>	<p>代表者や管理者は職員会議等で職員の意見や提案を聞いている。年2回代表者との個別面談で意見を聞く機会がある。管理者は個別に相談事を聞き適切にアドバイスをしている。手すりの高さの変更や入浴の2人介助、計画的な外出支援を検討する等、サービスの向上につなげている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は、個々の職員の勤務状況や実績、意欲など代表者に報告し、互いにやりがいのある働きやすい環境を整え処遇改善に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は、個々の希望に応じて参加調整を行っている。又、スタッフからも、「自分が学び伝えたい事」をテーマに挙げホーム内研修を計画し職員の意欲向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町主催の会議への参加や、外部研修会などで知り合った他GHの管理者を通じて意見交換を行い質の向上を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始の段階では、なかなか本人からの困りごと、要望などは見られないが、日常の会話から少しずつ本人の望む生活、不安ごとを聞き取り関係性を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	開始前の面接で、家族の困り事、不安要望を聞き取り安心出来る関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用前の生活状況を確認、その中で、これからも続けて行かれる事（趣味等）困っておられた事など伺い、行動様子の観察をさせて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る事、出来ない事、したくない事を見極め「もし利用者が私だったら、家族だったら」という思いを念頭に置いてケアにあたっている。理念に沿った家族の一員であるという認識を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、各家族にお便りを出したり、3ヶ月に1回ホームの新聞を出し、近況報告を行っている。家族面会時に、日常会話の中から本人の希望や様子などお伝えしたり、本人と家族の時間も作るようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、身内の方の面会の帰り際など、いつでも立ち寄って頂ける様な声掛けを行っている。不定期ではあるが、図書館に出かけたり近くの花畑など馴染みの場所に出かけている。	これまでの生活を継続できるよう、利用者が以前からの馴染みの店や公共施設等の利用、趣味の継続ができるように支援している。電話や手紙の取次ぎも行い、関係が途切れないようにしている。家族の協力で、昔の友人を面会に同行したり、理美容院の利用や外出・墓参に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士で、いさかいが起こりそうな時には、スタッフが間に入り、関係性が悪くならないよう孤立する事がないよう努力させて頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時は、お見舞いに行ったり亡くなられた際は、お通夜やお葬式に参列している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話や表情から利用者が、今何を考え、何をしたいのか把握に努めている。困難な場合、スタッフ間で情報共有しながら、常時関わり、気持ちを汲み取れるよう努力をしている。	日々の生活の中で、様子を観察し、言葉や表情・しぐさなどから思いや意向の把握に努めている。本人の要望でキーボードを活用している例もある。意思疎通が困難な場合は、家族や知人からの情報を得て、利用者の視点に立って職員間で話し合い、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に生活歴など家族からも情報収集している。その後も、面会時や本人との会話の中から、これまでの生活環境、本人の望む事を把握しサービス提供している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の表情や、言動を確認しながら、申し送りや連絡帳などでスタッフ間の連携を密にして、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向、主治医の意見などを参考に、毎月のケア会議で、統一する事、注意して観察が必要な事などを話し合い、その人らしく暮らして頂ける様に作成している。状況が変化した時は、現状に即した介護計画を作成している。	本人や家族の希望等汲み取った上で、主治医の意見を基にケア会議で検討し、個々に応じた介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況変化時は随時見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は、様子が分かるように本人の話し言葉、いつもと違う様子などで細かく残し、勤務者での申し合わせを徹底し情報共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者、家族の要望等を十分に聞き取り、日々の変化から予測される事をお伝えし、不満の生じないケアを心掛けている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行政や町議、顔なじみの方々に相談したり、提案を頂きながら一人一人の生活を支えている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホーム協力医による眼科、内科それぞれ月1回の往診となっている。体調異変時には、その時の状況に応じて病院受診、往診など必要な支援を行い、結果はその都度家族へ報告している。	本人や家族の希望するかかりつけ医への支援を行っている。受診は状況に応じて家族や職員同行で支援している。月1回協力医療機関の往診がある。緊急時等は24時間の医療連携体制が整っており、連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日、午前午後でバイタルサイン測定し、異常の早期発見に努めている。日々の気づきで問題がある場合は、毎日の申し合わせでスタッフ間で情報共有し病院受診など行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は病院関係者と情報交換を行い、家族・病院と話し合い、早期退院に向けての働きかけをし、それに対する対応が出来る事をお伝えし早期退院に繋がった例が多い。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に終末期や重度化に伴う対応の指針を家族に説明し同意書を貰っている。またそのような状態になった時に、再度意思確認し本人家族の要望に添えるよう、全職員が方針を共有し支援している。看取りの事例もある。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。重度化等の場合は主治医から家族への説明後、家族の要望等を確認している。状況変化に伴い意向を確認し、主治医と連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルに沿って対応している。避難訓練時に、応急処置・応急手当・心肺蘇生法の訓練に参加している。全スタッフ、普通救命講習受講している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防の指導の下に昼・夜間想定避難訓練を実施している。隣接の施設へも呼びかけ緊急時の応援要請のお願いをしている。緊急時に備えた、食料品の備蓄も確保している。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。自主訓練も行っている。消防後援会に加入し、地域住民や隣接企業との協力体制もできている。職員は全員「普通救命講習」を受講している。災害時の食料等の備蓄はある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>肌を露出する場面、入浴や排泄など羞恥心に配慮している。案内の際は、本人に伝えるように耳元で話しかけ、プライドを損ねない声掛けを行っている。</p>	<p>職員は、自分がそう言われたらどう思うか、と自分に置き換えて支援を行っている。入浴や排泄介助時は羞恥心に配慮し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>その日の本人の気分に合わせ、出来る出来ない、したくないを本人が言いやすいように働きかけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日のスタッフで申し合わせをして、今日を笑顔で楽しく過ごして頂ける様、可能な限り希望に沿って支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人の好みに合わせ当日の服を選んで頂いたり、鏡を見たりして整髪やお化粧などその人らしい身だしなみが出来るよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜を切る・味を調える・片付け・盛りつけなどお手伝い頂ける方をお願いし、それぞれに役割を持って頂いている。又、目で見て楽しめるよう盛り付けの工夫を行っている。	旬の食材で利用者の嗜好に配慮した献立を作成している。利用者個々人の力を活かしながら、準備や後片づけを職員と一緒にいき、食事と一緒にしている。誕生日は本人の希望の献立にしている。季節の行事食や花見の手作り弁当など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量・食事摂取量を確認し、栄養補助食品を取り入れたり、本人の嗜好を取り入れ好みの物を摂って頂くようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯の洗浄やうがいをしている。就寝前は、義歯洗浄剤にて消毒。うがいの出来ない方については、口腔ウェットタオルなどで口腔内の清潔保持の支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	前回の排泄時間を考慮しながら、本人にだけ分かるように声掛けし、日中は全利用者様トイレ案内を行い、自然排尿を促している。	個々人の排泄パターンや習慣を把握し、日中は布パンツでトイレ誘導を行い、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。食材や水分調節、便秘薬の調整などにも配慮し、自然排便と排泄の自立に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、牛乳やヨーグルトなどの乳製品を摂っている。水分を多く飲んで頂いたり、腹部マッサージを行ったりしている。排便困難な方については、ホーム看護師、かかりつけ医に相談し服薬コントロールを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は24時間対応できる設備を活用。入浴日に、体調不良や、病院受診、外出がある時、又、ご本人様の意に添わない時は、時間や日を変えて入って頂くようにしている。可能な限り浴槽内に入って頂くことを前提に、状況に応じて2人介助にて行う場合もある。	週3回の入浴を基本にしているが毎日でも可能であり、希望の時間に個浴もできる。状況に応じて2人介助にしたり、嫌がる場合は無理強いせず職員を交代して声かけをしたり、翌日に変更している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠気が強い様子や、体調を考えて居室へ案内し、眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	生活記録に、薬の情報提供書をとじ、いつでも確認できる状態にしている。定期薬以外の、特変時の薬などは連絡帳に書き、服薬忘れ、誤薬などがないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で、出来る事、出来ない事、したくない事を把握し役割を持って頂いている。して頂いた事に対しては、感謝の言葉を伝え、一人一人に合わせた支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	店や図書館、精米所などに出掛けたり、地域の行事に積極的に参加している。また、家族の方と一緒に外出など行かれる機会が多い。	日常的に散歩を兼ねて敷地内の菜園や洗濯物の様子を見回ったり、買い物や図書館にでかけている。テラスでのお茶のみもしている。ホームの年間計画で毎月1回は外出しており、地域行事や弁当持参で花見に行ったり、家族の協力です理・美容院や墓参にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金管理については、ご家族にお願いしホーム内での管理は行っていない。希望の物の購入については、立替を行い後日家族へ請求している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人、家族の要望を確認しながら、その時の対応をしている。家族から電話がきた時には、近況をお知らせし、ご本人さんと話をして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の飾り付けや、園庭に咲いている花を飾ったり、一緒に作った作品や写真を展示している。その日の気候に応じて、換気、採光、温湿度調整に配慮している。	玄関入り口にベンチを置き、周囲に花が植えてある。共用の空間は明るく広い。換気や採光に配慮し、清潔である。リビングから直接テラスに出ることができ開放的である。対面式キッチンで利用者も手伝ったりしている。テーブルや椅子・ソファで栗野岳を眺めながらくつろげる様に工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを設置してある。テラスや、屋外にテーブルや椅子を準備、談話出来る工夫をし、その日の思い思いの場所で過ごしていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れていた家具や、衣類など持って来られており、自宅に近い環境で過ごしていらっしゃる。本人と一緒に、使いやすい場所へ物を置いたり確認している。天気の良い日は布団干しなど、定期的に行っている。	居室の入り口は格子になっており、窓も障子で和風作りである。腰窓の障子で採光が調節できる。居室はベッドが置かれ、本人が使い慣れたタンスや寝具・テレビ・椅子などや趣味のキーボード等が持ち込まれ、写真も好みに応じて飾り、本人が安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレ、浴室等へは写真や大きい文字で表示する工夫をしている。手を貸しすぎず、出来る事は自身でして頂き、出来ない事に対してお手伝いし、安全に自立した生活が送れるよう支援している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない